

中瀬古和 没後50周年レクチャーコンサート

「捧げまつる 感謝の歌を」

—神と共に生きた作曲家 中瀬古和—

なかせこかず
中瀬古和(1908-73)は20世紀前半日本を代表する作曲家です。1926年に同志社女学校普通部を卒業した後、17歳で単身渡米し、ワシントン大学、イーストマン音楽学校大学院で音楽の教育を受けました。1932-33年にはベルリン国立高等音楽院でパウル・ヒンデミットに作曲を師事し、帰国後は、作曲家として本格的にデビューすると共に、同志社女子大学で教鞭をとり、教育にも力を注ぎました。これまでヒンデミットを中心とする現代音楽を日本に紹介したことや、教育者としての功績が知られてきましたが、近年の研究によって、新しい教会音楽のありかたを模索していたことが明らかになってきました。本公演では、主に作曲家としての取り組みに焦点を当てます。第1部では彼女の生涯をふりかえります。第2部では1950、60年代の音楽の動向を踏まえつつ、中瀬古和が選んだ道は何だったのか、作品を通して伝えたかったメッセージは何だったのかを探究することを目的としています。
どうぞご期待ください。



第1部

プレトーク 「中瀬古和の生涯」
ピアノ曲 Prelude / Suite II
声楽曲 しかの溪川をしたひ喘ぐがごとく
合唱曲 すべての国よ 神よたたえよ—詩篇117—
主シオンのとらわれびとを かえしたまいしとき—詩篇126—
神よ捧げまつる感謝の歌を—詩篇65—

第2部

プレトーク 「器楽作品の聴きどころ」「1950、60年代の音楽の動向」
室内楽曲 String Quartet II / String Sextet I
ヴァイオリン曲 Movements for Violin Solo

ソプラノ 松下悦子
ピアノ 河江優
ヴァイオリン 山本裕樹 山本真彩 小松みのり
ヴィオラ 柳生厚彦
チェロ 雨田一孝
コントラバス 西口由子
合唱指揮 貞方千恵子
合唱 Rara cara Tempo 和の音
プレトーク 椎名亮輔 中村滋延
筒井はる香(ナビゲーター)

2023.9月30日(土)15:00開演(14:30開場)
京都コンサートホール アンサンブルホールムラタ

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1番地の26

入場無料【要整理券】

主催：中瀬古和没後50周年レクチャーコンサート実行委員会

後援：日本音楽学会、同志社女子大学音楽学科 協力：エラート音楽事務所、コーラス・カンパニー

助成：同志社女子大学研究助成金(共同研究)

【整理券申込・お問い合わせ】



コーラス・カンパニー

☎075-415-8686